

おがさ版

【発行者】小笠ろうあ協会

Vol.021
2012年
2月号

年頭のご挨拶 会長 杉田

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願い致します。

当協会の事業運営に対し温かいご理解・ご協力を賜っておりますことを心より感謝申し上げます。

さて、昨年三月十一日に東日本大震災が発生し、多くの方々が犠牲となりました。被災地では今なお復興に向け、進んでおられること存じます。私どもも東日本大震災聴覚障害者救援静岡県本部を立ち上げ、関係団体の皆様へ義援金の協力をお願いし、被災地の復興へ微力ですが、力を注ぎました。

また、We Love Community署名運動ではパンフレット普及や街頭活動などに多大なご協力をいただき感謝申し上げます。全国より集まった一六万余筆の署名を国へ提出し、情報・コミュニケーション法の実現に向けて歩き出してお

ります。さらには改正障害者基本法で初めて「言語に手話を含む」ことが明記されました。これも私たちの運動の成果の一つだと感じております。そして本年は手話言語法の制定を求めて新たな運動を展開しています。まずは手話言語法について学び、理解し、運動を進めていくことを願っています。

本年も、私ども当協会の事業運営に対しまして更なるご理解・協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員をはじめ関係者の皆様に新しい年が希望あふれる一年になりますようお祈り申し上げます。

お楽しみ交流会ニ菊川

一月十五日(日)には昨年に引き続き、菊川市町部地区センターにてお楽しみ交流会を開催しました。参加者を飽きさせないように、高齢者の方も楽しめるよう、また程よい内容を工夫し、みんなが盛り上がるように体を動かすゲーム(硬貨リレー、紙テープ切り)とボケ防止に頭脳ゲーム(算数ゲーム、駅名、歴代首相)、最後に伝言ゲームで締めました。

参加者の中には「来年ももっと時間をか

けてほしい」、「お菓子とお茶を飲みながらのんびりやりたい」などうれしい意見を頂きました。(レポート 松本久夫)

手話カルタ大会ニ御前崎



一月七日(土)毎年「太陽の会」主催の第三七回手話カルタ大会で、私は欠席者の代理で参加しました。今まで勝つたことがなかった私でした。

最後の決勝戦

の時、強い人ばかりで負けると思っていたけど、頑張つて戦いました。自分が優勝できたことを信じられませんでした。でも面白かったです。

家に帰ってから主人に優勝の報告をすると、「うそだ!」と言われました。優勝トロフィ





ーを見せると「珍しい…」とやっと信じて、にっこりと笑ってくれました。来年も頑張って連続して優勝を取れたらいいなあと思います。
(レポート大場由規)

三地域お楽しみ交流会三掛川

私は昨年太陽の会(夜)に入会しました。少し人見知りがあるので、手話がちゃんと通じるのか?不安もあり、はじめはどうしようかと迷いましたが参加しないことには始まり



ないと思いません。今回の三地域お楽しみ交流会に参加させていただきます。ありがとうございました。

ことになりました。役割、準備から話し合っ

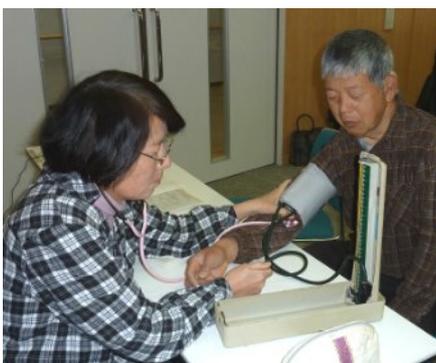


そして交流会が始まり、手話劇をやる

に高齢者の方が多いことにはビックリしました。なぜなら、以前所属していたサークル活動の中にこういつたふれあいがなく、知っている人だけで手話の勉強をしてきたからです。

ずかしくて、舞台でも表情がうまくてきず、とても苦労しました。

(密岡さん)



【編集後記】

幸せを周りにまきながら、準備を…(汗)

【問い合わせ先】会報部 たかぎ

E-Mail yasuki@mail.wbs.ne.jp